

令和 6 年度

「運営に関する計画」

大阪市立岸里小学校

令和 6 年 4 月

大阪市立 岸里 小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 岸里小学校の課題は「学力の二極化」が顕著なことである。あわせて、上位層に比べて下位層のボリュームが大きく、結果的に、標準化得点が100未満の学年がある。このように考えると、本校の課題は、大阪市の学力の課題そのままであることがわかる。本校の学力の取組が成功すれば、大阪市の学力は上がるという大きな希望をもって、教育活動に取り組みたいと考える。

〔課題解決のための具体的取組〕

- ・始業前（1時間目の前）の時間を活用した短時間学習の取組

火（国語を中心に）、水（地域・保護者ボランティアによる読み聞かせ、読書タイム）、木（第1・2 算数）、金（英語）

- ・教科担任制・学年協業制の導入による授業改善

学級担任による授業だけでなく、低学年から教科担任や学年教員による授業の分担を行い、しっかりと教材研究や授業準備を行い、子どもにとって、わかる授業を行う。また、習熟度・理解度の実態把握を行い、スマールステップとして個に応じた学習ドリル等を用意して繰り返し学習に取り組み、一人一人の学力の確かな定着をめざす。

- ・「学習会」の取組

稼業日の放課後はもとより、学期末個人懇談会及び長期休業中に学習会を実施する。読み書き障害に対する対応や個に応じた指導に繰り返し取り組むことにより、苦手意識を払拭し、達成感や成就感を味わわせることにより、いっそうの学力向上につないでいきたい。

- 令和6年度は、より一層、運動に親しむ機会を、授業や学校行事、休み時間などで増やし、より一層の体力向上を目指していきたい。その際には、「運動する楽しさ」を児童が体感し、主体的に運動に親しむことができるようにしていく。

- 不登校傾向児童については、SSWやSCとの連携を進め、家庭訪問等を行い、別室登校や家庭での学習・相談ができるようになり、一定の効果があった。今後もより一層、日ごろからの児童の人間関係に気を配り、全教職員で情報を共有しながら、不登校ゼロに向けて取り組みを進めたい。

- 「あいさつ」「学校美化」「学力向上」に、引き続き力を入れて取り組む。

校内美化の推進により落ち着いた学校の雰囲気の中で、しっかりと学習に取り組むよう、計画的・継続的に指導をする。今年度より、二足制を導入し、教職員・児童ともに、学習環境のより一層の向上に向けた意識を高めていきたい。

- 手洗いの習慣や学習時の姿勢について、指導の成果がみられる。体力・運動能力を向上させることから、体幹を鍛え、正しい姿勢で過ごすことができるよう、引き続き取り組む。あわせて、毎日の生活の中で自分の健康に関心をもち、体力・運動能力を向上させることができるよう、家庭との連携をいっそう重視しながら、計画的・継続的に取り組むようにする。

中期目標（令和7年度末までの学校目標）

【安心・安全な教育の推進】

- 小学校経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を[85%以上]にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を[35%以上]にする。
- 小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より[0.1ポイント]向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を[70%以上]にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 家庭や学校で学習者用端末を活用した学習を[週3回]実施する。
- 一日のうちに一度、児童自らが入力した学習者用端末の「心の天気」を、児童理解に活用する。
- 「ゆとりの日」（ノ一會議デイ、ノ一残業デイ）を[週に一回]設定・実施する

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の推進】

全市共通目標（小学校）（令和5年度末 改訂・見直し）

★基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合
⇒小学校 85%（令和7年度末）
- 「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して3時間以上と回答する児童生徒の割合
⇒小学校 20.5%（令和7年度末）

★基本的な方向2 豊かな心の育成

- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合
⇒小学校 96%（令和7年度末）
- 「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合
⇒小学校 77%（令和7年度末）

【学校園の年度目標】

★基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現

- 小学校学力経年調査における「「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。（R5 81%）

★基本的な方向2 豊かな心の育成

- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。（R5 84.1%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

★基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比
⇒小学校（国・算）1.00（令和7年度末）

★基本的な方向5 健やかな体の育成

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比
⇒小学校（男・女）1.00（令和7年度末）

【学校園の年度目標】

★基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
(R5 5年 1.00 · 4年 1.03 · 3年 0.82)

★基本的な方向5 健やかな体の育成

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。
(R5 57.4%)

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

★基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- 授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えた学校の割合（ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）
⇒ 75%（令和7年度末）

★基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合
⇒「プラン」における目標の達成（令和7年度末）

★基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

- 「『はぐくみねっと』『学校元気アップ地域本部』や学校協議会などの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して、肯定的に回答する小中学校の割合

⇒小学校 85%（令和7年度末）

学校園の年度目標

★基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（R5 実績数値なし）

★基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を61%以上にする。
(R5 60.0%)

※ ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること
イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること

3 本年度の自己評価結果の総括

様式 2

大阪市立 岸里 小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安心・安全な教育の推進】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>★基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現</p> <p>○小学校学力経年調査における「「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(R5 81%)</p> <p>★基本的な方向2 豊かな心の育成</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R5 84.1%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「学校安心ルール」や「岸里のきまり」の共通理解の元、教職員が一貫した指導にあたるとともに、ふり返りの機会や承認・称賛の機会を設け、日常の生活指導や道徳教育を通して、きまりや規則を大切にする態度を養う。</p> <p>(問題行動への対応)</p>	
<p>指標</p> <p>校内児童アンケートにおける「学校のきまりや生活目標を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R5 87.1%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>あいさつ運動、朝の校門指導をはじめとする日常の生活指導、道徳科での指導など、学校生活全般での指導の機会を通して、どの人にもあいさつすることの大切さ・気持ちの良さを伝え、自らすすんであいさつできるようにする。</p> <p>(道徳教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>校内児童アンケートにおける「自分からすすんであいさつをしていますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする。(R5 77.8%)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>平素からの児童理解に努め、学校で認知したいじめについて、個々の児童に寄り添いながら、教職員の連携の元、いじめの解消に即応努める。</p> <p>(いじめへの対応)</p>	
<p>指標</p> <p>小学校経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にする。(R5年度 82.5%)</p>	

<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」を一層推進すべく、家庭との連携を密にし、児童や保護者の思いに寄り添いながら、一人ひとりの持つ個性の一部分であるという認識のもと、違いを認め合い育ちあう仲間づくりをすすめる。</p> <p>家庭との連携を密にし、児童や保護者の思いに寄り添いながら、集団づくりとともに自尊感情の醸成を大切にした教育活動を実践する。</p> <p style="text-align: right;">(人権を尊重する教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>校内児童アンケートにおける「友だちを大切にし、仲よく遊んでいますか」の項目において、肯定的な回答を96%以上にする。(R5 95.8%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標	達成状況
<p>校園の年度目標</p> <p>★<u>基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</u> ○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 (R5 5年 1.00 ・ 4年 1.03 ・ 3年 0.82)</p> <p>★<u>基本的な方向5 健やかな体の育成</u> ○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。 (R5 57.4%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【<u>基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</u>】 学年チームによる授業担当や専科指導の充実により、児童にとって「わかる」授業を実践するとともに、まとめのテスト等で理解の程度を確認し、朝の学習や放課後の学習会の時間を活用した繰り返し学習の機会を設けたりして、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。 (主体的・対話的で深い学びの推進)</p> <p>指標 校内児童アンケートにおける「授業の内容が『わかった・できた』と思いますか」の項目において、肯定的な回答を88%以上にする。(R5 87.8%)</p>	
<p>取組内容②【<u>基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</u>】 学年段階に応じた「発表の仕方」や「話し合いの仕方」の基本となる話型を作成し、各学級に掲示する。また、課題と話し合いのめあてを明確にし、「自分の考え」を持たせた上で交流活動を設定し、問題解決型学習を効果的に取り入れる。 (言語活動・理数教育の充実 {思考力・判断力・表現力の育成})</p> <p>指標 校内児童アンケートにおける「授業を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、肯定的な回答を73%以上にする。 (R5 72.4%)</p>	
<p>取組内容③【<u>基本的な方向5 健やかな体の育成</u>】 各学級や委員会活動において、外遊びの啓発を行い、運動に親しむ機会を増やす。 (体力運動能力向上のための取組の推進)</p>	

<p>指標</p> <p>校内児童アンケートにおける「休み時間などの時、体を動かすいろいろな遊びや運動を楽しんでいますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする。 (R5 新項目)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>自身の健康や体力について、興味・関心を持ち、規則正しく健康的な家庭生活・学校生活を過ごすことができるよう啓発活動を行っていく。 (体力運動能力向上のための取組の推進)</p>	

<p>指標</p> <p>校内児童アンケートにおける「良い姿勢で学習したり、給食を食べたりするように、気をつけましたか」の項目について、肯定的な回答を70%以上にする。 (R5 69%)</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

次年度への改善点

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>★<u>基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進</u></p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（R5 実績数値なし）</p> <p>★<u>基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり</u></p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を61%以上にする。 (R5 60.0%)</p> <p>※ ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>学習者用端末を生かしデジタル教科書やデジタルドリル等を効果的に活用し、個々の状況に応じた学びにつなげるようつとめる。</p> <p>(ICTを活用した教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>家庭や学校で学習者用端末を活用した学習を週3回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>児童理解を深めるため、児童の変化やサインに気付けるよう「報告・連絡・相談」を行い、教職員の情報共有をすすめる。</p> <p>(ICTを活用した教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>学習者用端末の「心の天気」・「相談機能」を毎週チェックし、児童理解に活用する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保。育成としなやかな組織づくり】</p> <p>学校園の働き方改革推進プランに基づき教員が働きやすい環境となるよう会議等の精選を継続する。</p> <p>(働き方改革の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>「ゆとりの日」(ノ一会議デイ、ノ一残業デイ)を週1回以上設定し、実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向7 人材の確保。育成としなやかな組織づくり】</p> <p>校内研修を活性化させ、授業力向上及び初任者、若手教員の育成を図る。</p> <p>(教員の資質向上・人材確保)</p>	
<p>指標</p> <p>年6回の全員参加の授業研究会を設け、研究討議会を毎回行う。また、学年内で授業研究を行い、授業力の向上を図る。さらに、若手教員を中心とした研修((KYP)を年間5回以上行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点